

報告事項 オ

県立まなびの森学園の開校後の状況について

県立まなびの森学園の開校後の状況について、別紙のとおり報告します。

令和6年7月31日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

1 教育活動

(1) 学習について

1日4校時、40分授業を踏まえた時間割で9教科等を学んでいる。中学校の学びを通して、学習（知識・技能）の積み上げだけでなく、仲間とつながり合い、力を合わせ、社会[ふるさと（鳥取をはじめ多様な地域）の人・もの・仕事]とつながり、その一員として大切な自分の存在を認識し、主体的に行動できる力を高めることを目指している。

例えば、ゲストティーチャーを招聘し、「社会保障と行政手続きのいろは」や「人権学習～ユニバーサルデザイン」等、社会とつながる授業を実施。内容により、生徒の家族や地域の方々等に参加を呼びかけ、社会に開かれた教育課程の展開も意識している。

- 「社会保障と行政手続きのいろは」
（鳥取県行政書士会 谷本 秀樹 行政書士）
社会保障とは何か、社会保障を受けるために必要な書類、謄本と抄本の違い、住民票の取り方などを学んだ。



- 「人権学習～ユニバーサルデザイン」
（江山人権福祉センター 石田 重幸 所長）
誰もが使いやすくなる工夫について（スロープ、手すり等）学んだり、ユニバーサルデザイン商品（牛乳パックの上にあるくぼみ等）に触れたり、特殊な眼鏡をかけて色の見えにくさの体験などをした。



また、事前面談を通して個別の学習計画を作成し、個々の学習目標を設定した上で、生徒一人一人のこれまでの学びの状況、理解度、興味関心に合わせ、ICTやデジタル教科書の積極的な活用や複数の教材を用意した授業展開などを工夫するとともに、チーム・ティーチングで、きめ細やかな指導を行うことで、より効果的な学習を進めている。

日本語の指導が必要な外国籍の生徒については、教科の学習をとおして、日本語を使いながら日本での生活がしやすくなるような学びを目指している。

(2) 主な行事について

- 4月：開校式・入学式（始業式）、教育相談（担任面談）、避難訓練（火災）
- 5月：学習面談、全校美化活動、出前授業「社会保障と行政手続きのいろは」、遠足（ナイトウォーク、鳥取空港等）
- 6月：スクールカウンセラー特別授業「会話力のノウハウ」、出前授業「情報モラルとメディアリテラシー」、ユニバーサルスポーツ大会（ボッチャ）
- 7月：学習面談、出前授業「いのちの授業」、全校美化活動、終業式
- 7月25日から8月25日まで夏季休業日



遠足（ナイトウォーク）



UDスポーツ大会

(3) 今後の予定

- 8月：学校説明会・体験授業会、全校美化活動、教育相談
 - 9月：避難訓練（地震）、野外観察&ナイトミュージアム（県立博物館）、Welcomeゲストティーチャー「鳥取の歴史」、出前授業「租税・金融教室」、地産地消調理実習①（校外学習）
 - 10月：学習面談、運動会（湖東中学校体育館）、Welcomeゲストティーチャー「陶芸」
 - 11月：グループ別探究的ツアー（校外・県内）、出前授業「金融教育」、修学旅行、地産地消調理実習②（校外実習）
 - 12月：学習面談、まな森文化祭、全校美化活動、終業式
 - 1月：始業式、全校美化活動、教育相談、避難訓練（防犯）、Welcomeゲストティーチャー「冠婚葬祭」
 - 2月：ビジネスマナー学習、職業調べや疑似体験学習、テーブル&ティーマナー（校外実習）
 - 3月：学習面談、卒業式、全校美化活動、終業式
- ※まな森 Café：ひと月に1回程度実施。食育の観点を踏まえ、テーマを決め、食事と会話を楽しみながら学習する企画。5月は理科の特別授業「植物の体のつくり～サツマイモは根、ジャガイモは？」、7月は子ども食堂「みんなの居場所『ぽっと』」（鳥取市湖山町）へ訪問。

2 生徒概要

(1) 生徒の様子

様々な事情で義務教育段階の学びを十分に受けられなかった生徒が入学している。中には、過去の不登校経験や家庭環境の悩みなどを抱えている生徒もいる。毎日通っている生徒は、自分たちの未来のために学びたいという強い意志を持ち、学習に取り組む姿勢は真剣であり、互いに支え合い、励まし合いながら学習しており、協調性やコミュニケーション能力を育む貴重な場となっている。

一方、学び直そうと決めて入学したものの、毎日学校に通える生徒は約半数である。

(2) 在籍状況（令和6年7月1日現在）

ア 在籍生徒数

第1学年		第2学年		第3学年		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女
3	5	0	2	2	0	5	7
8		2		2		12	

イ 年代別生徒数

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
6	0	2	2	1	1	12

ウ 国籍別生徒数

日本	外国（タイ）	合計
11	1	12

エ 市町村別生徒数

東部地区		中部地区		西部地区		合計
鳥取市	9	三朝町	1	米子市	1	12
智頭町	1					

オ 主とする通学方法

徒歩	自転車	バス	列車	自家用車	バイク	その他	合計
1	0	0	5	3	0	3	12

※その他は家族による送迎等

(3) 生徒と教職員との関わり

生徒と教職員は、互いに信頼関係を築きながら学習を行っており、生徒たちが安心して学習に取り組める環境作りを心がけている。

また、教職員は生徒一人一人のこれまでの学びの状況を尊重し、生徒たちの可能性を最大限に引き出せるよう、生徒たちが自信を持ち自己肯定感を高められる場面を意図的に作ったり、時に温かく見守ったりしながら生徒をサポートしている。

3 課題

様々な背景を持つ生徒が通っているため、生徒たちの学習進度に差がある。また、毎日学校に通える生徒は約半数である。学校としても、校内だけでなく、校外の教育資源を活用したり、関係機関等と連携したりしながら、生徒が将来の夢に向かって歩み出すことができるよう、今後も教育活動の充実に努めていく。

また、まなびの森学園の存在や取組を多くの方に周知いただけるよう、ホームページ等で学校の様子を発信し、来年度の入学生徒募集についても、引き続き広報活動を行っていく。